

# ちぐさ

千草台公民館だより No.2  
千葉県稲毛区天台 3-16-5  
☎043-255-3032  
2024(令和6)年5月1日発行



5月といえば何を一番に思い出されるでしょうか？

5月は31日あり、春の後半にあたります。5月を飾る風物詩として思いつくものといえば、「こいのぼり」

「母の日」「新茶」「田植え」「潮干狩り」「端午の節句」

「メーデー」「ゴールデンウィーク」「スズラン」

「こどもの日」など挙げればきりがありません。旬の食べ物も豊富で、タケノコやわらびなどの山菜も春を感じさせ、魚や野菜、果物も充実しています。いずれをとっても、湧き上がる生命力を感じさせるすばらしいシーズンであると思います。さて、先ほど例に挙げた「スズラン」は5月の誕生花の一つになっていますが、5月5日の誕生花でもあります。月ごとに誕生石として宝石が当てられているように、誕生花も月ごとに当てられているのですが、誕生花は、実は日ごとにも当てられているのをご存じでしたか？

つまり自分の誕生日のお花が決まっているということです。そしてそれぞれが花言葉も持っているので、ご自分の誕生花を調べてみるのも楽しいものではないでしょうか。ちなみに5月の誕生花であるスズランの花言葉には、「純粹」や「幸せの再来」などがあるそうです。

コロナで遠ざかっていた人と人との対面でのつながりや交流が、以前のように活発になり、幸せの再来となれば良いと思います。公民館もそのような場をお手伝いする場所になればと考えております。

## <お知らせ>

「利用団体総会」を以下の日程で実施します。各会代表の方はご参加をよろしく申し上げます。詳しくは公民館のメールボックスに配付した「開催のご案内」をご覧ください。

① 日 時：令和6年5月18日（土）10:00～

② 会 場：千草台公民館 講堂 ③持ち物：年会費、筆記用具等

「図書室からのお知らせ」は裏面をご参照ください ↓

## <図書室より>

### 5月の購入本のお知らせ

図書室では、新刊を中心に話題の本を購入しています。5月購入予定本をお知らせします。ぜひご来館の上、お手に取っていただきたいと思います。



- 「じぶんでできる浄化の本」 神人  
「自分でできる邪気ばらい」 青龍  
「サムライ開運法 2024版」 土御門 兼嗣  
「るるぶ十勝帯広ガーデン2024」  
「ことりっぶ Magazine VOL.39」 ことりっぶ mook  
「ことりっぶ Magazine VOL.40」 ことりっぶ mook  
「自分で自分の介護をする本」 小山 朝子  
「糖質疲労」 山田 悟  
「介護でもらえる「お金」と「保障」がすらすらわかるノート」 河北 美紀  
「命を守る『すい臓がん』の新常識」 花田 敬士  
「亜希の『ふたが閉まるのか?』弁当」 亜希  
「観葉植物男子」 かい  
「コジコジにきいてみた モヤモヤ問答集」 さくら ももこ  
「メメントモリ」 ヨシタケ シンスケ  
「おしごとそうだんセンター」 ヨシタケ シンスケ  
「小澤征爾、兄弟と語る」 小澤俊夫/征爾/幹雄  
「ぼくはあと何回、満月を見るだろう」 坂本 龍一  
「黄色い家」 川上 未映子  
「姥玉みつつ」 西條 奈加  
「ともぐい」 河崎 秋子  
「ヒポクラテスの悲願」 中山 七里  
「坂上に咲く」 原田ハマ  
「八月の御所グランド」 万城目 学  
「捨てたい人捨てたくない人」 群ようこ  
「ポジティブ思考の育て方46 学校では教えてくれない大切なこと」 小豆だるま  
「いちねんせいえほんはじめてのよのなかルールブック」 高濱 正伸  
「5分後に意外な結末 ex インディゴを乗せた旅の果て」 桃戸ハル  
「ふわふわとちくちく」 斉藤 孝  
「ことばいいかええほん」 斉藤 孝  
「まいごのコールテンくん」 ドン・フリーマン  
「くれよんたちのきょうはなにをかこうかな?」 なかや みわ  
「くだものころん」 彦坂 有紀  
「あさいち」 大石 可久也  
「大ピンチずかん2」 鈴木のりたけ  
「オニガシマラソン 海」 トロル  
「すもうのずかん」 オゼキ イサム  
「おしりたんでい あらたなるかいとう」 トロル  
「かいけつゾロリノシン いきなり王さまになる 74」 原 ゆたか  
「ふしぎ町のふしぎレストラン 7」 三田村 信行